

令和6年度 国民健康保険事業費納付金（仮係数）算定に伴う状況について

◎ 令和6年度 事業費納付金（仮係数）について

（単位：円）

区分	医療分	後期支援金分	介護納付金分	合計
令和6年度（仮係数）	2,437,108,781	791,037,735	264,568,881	3,492,715,397
令和5年度（確定係数）	2,519,182,842	802,752,659	280,944,250	3,602,879,751
前年度比	△ 82,074,061	△ 11,714,924	△ 16,375,369	△ 110,164,354
増減率	△3.26%	△1.46%	△5.83%	△3.06%

◎ 標準保険税率（仮係数）について

区分	令和6年度標準保険税率		令和5年度保険税率		比較	
	所得割（%）	均等割（円）	所得割（%）	均等割（円）	所得割（%）	均等割（円）
医療分	8.99%	42,424	5.60%	27,500	-3.39%	-14,924
後期支援金分	3.02%	14,537	2.25%	11,500	-0.77%	-3,037
介護納付金分	2.21%	17,313	1.70%	14,500	-0.51%	-2,813
合計	14.22%	74,274	9.55%	53,500	-4.67%	-20,774

◎ 令和6年度当初予算見積額について

（単位：千円）

歳入合計額	-	歳出合計額	=	歳入不足額	6億4千万円の歳入不足の状態
11,556,000		12,196,000		△ 640,000	

※1 令和5年12月5日現在の見積額

※2 歳入合計額は基金取り崩し前の額

（単位：千円）

区分	令和4年度末 現在高	令和5年度		令和5年度末 現在高見込額
		積立見込額	取崩見込額	
国民健康保険事業運営基金	409,142	224,555	335,000	298,697

仮に基金を2億9千万円取り崩して歳入不足を補填した場合

（単位：千円）

歳入合計額	+	基金取崩額	=	歳入不足額	基金をほぼ全額取り崩しても まだ3億5千万円の歳入不足
△ 640,000		290,000		△ 350,000	

歳入不足を補う方法としては

① 全て保険税により補う

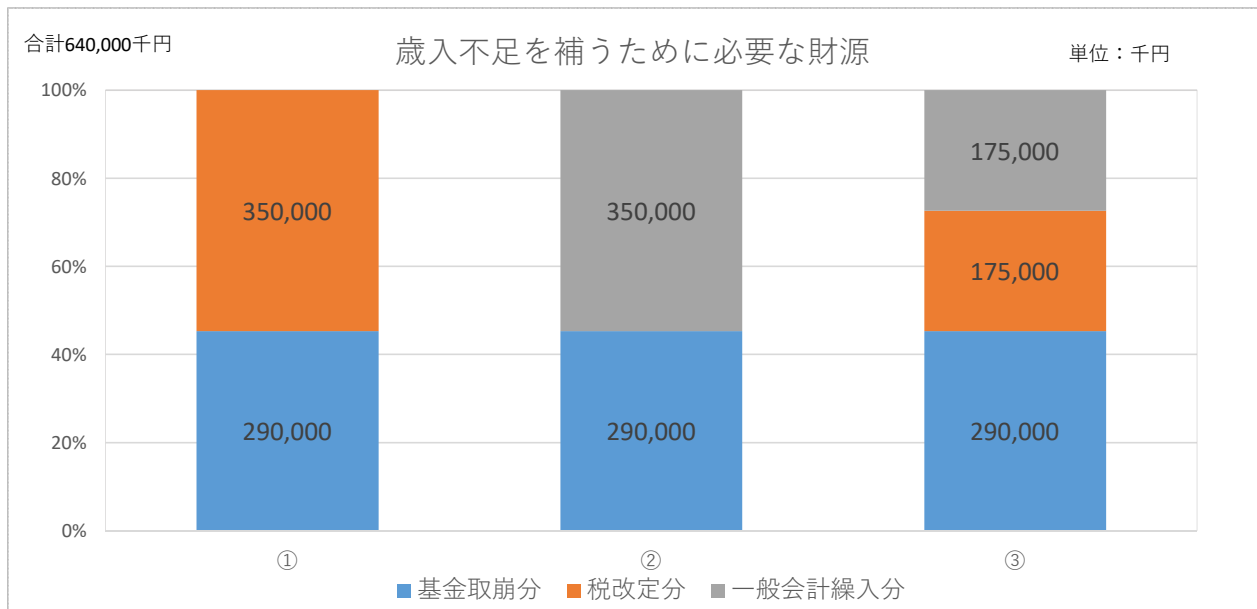
平均改定率+17.6%、1人当たり年額+15,969円の税改定が必要

② 全て一般会計からの繰り入れにより補う

一般会計からその他繰り入れ分として3億5千万円の繰り入れが必要

③ 保険税と一般会計からの繰り入れの両方により補う

仮に半分ずつ補うとすると平均改定率+8.8%、1人当たり年額+7,984円の税改定と一般会計からその他繰り入れ分として1億7千5百万円の繰り入れが必要



【参考】 令和5年10月時点保険税調定と改定パターン

被保険者数

21,918人

(単位：円)

区分	医療分	後期支援金分	介護納付金分	合計	一人当たり平均改定額	平均改定率	
10月調定	1,292,148,300	519,557,100	176,645,000	1,988,350,400	—	—	
A	調定額	1,356,755,715	545,534,955	185,477,250	2,087,767,920	4,536	5.0%
	増収額	64,607,415	25,977,855	8,832,250	99,417,520		
B	調定額	1,421,363,130	571,512,810	194,309,500	2,187,185,440	9,072	10.0%
	増収額	129,214,830	51,955,710	17,664,500	198,835,040		
C	調定額	1,485,970,545	597,490,665	203,141,750	2,286,602,960	13,608	15.0%
	増収額	193,822,245	77,933,565	26,496,750	298,252,560		
D	調定額	1,550,577,960	623,468,520	211,974,000	2,386,020,480	18,144	20.0%
	増収額	258,429,660	103,911,420	35,329,000	397,670,080		